地域整備方針

(神戸市)

| 地域名称 | 整備の目標 | 都市開発事業を通じて増進すべき 都市機能に関する事項 | 公共施設その他の公益的施設の 整備に関する基本的事項 | 緊急かつ重点的な市街地の 整備の推進に関し必要な事項 |
|----------|----------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
| <u> </u> | 「如十五件取名執供以件) | 御巾筬形に送りる事項 | 登1年に 3 0 本 本 的 争 項 | 登舗の推進に関し必要は事項 |
| 神戸都心・臨海 | [都市再生緊急整備地域] | | | |
| 地域 | 神戸市の都心の中核であ | | ○港町神戸の歴史や文化、自然に彩られた個 | ○三宮駅周辺において、すべ |
| | り、複数の交通機関の結節 | ○建物の整備、更新にあわせて、商業、業務、 | | |
| | 点である三宮駅周辺および | 文化、観光、防災機能を充実 | 性ある地域をつなぐ歩行者動線や滞留空間 | ての人の安全・快適な活動 |
| | 三宮駅からウォーターフロン | | 等の強化、多様な交通手段の確保により、都 | に寄与する歩行者空間を確 |
| | トに至るまでの地域、並びに | ○三宮駅周辺において、駅の改築や駅周辺の | 心地域全体の回遊性を向上 | 保した都市開発事業を促進 |
| | 元町駅周辺から兵庫県庁周 | 再整備にあわせて、鉄道、バス、タクシーな | | |
| | 辺に至るまでの地域におい | どの各交通機関間の連絡の円滑化、駅前 | | 〇三宮駅前や税関線の沿道 |
| | て、商業、業務、文化、観光 | 広場機能の強化などにより、交通結節機能 | 〇三宮駅周辺において、各公共交通機関の乗り | において、神戸の顔にふさ |
| | など様々な都市機能の集積 | を強化し、利便性、回遊性の向上を図るとと | 換えの利便性、回遊性、防災性の向上を図る | わしい建築物等の意匠や |
| | を図り、広域的かつ多様な都 | もに、広く豊かな滞留空間や災害時の備蓄 | ため、ユニバーサルデザインに配慮し、地下、 | 形態についての配慮など、 |
| | 市拠点を形成するとともに、 | 機能の整備などにより感染症にも対応した | 地上、デッキレベルの歩行者空間のネットワ | 風格のある景観形成に資 |
| | 個性ある地域間のネットワー | 防災機能を充実 | 一クや案内サインを強化するとともに、沿道建 | する都市開発事業を促進 |
| | クを強化し、都心地域全体の | | 築物と一体となった広く豊かなオープンスペー | |
| | 回遊性を向上 | 〇磯上公園周辺において、商業、業務機能の | スを備え、安全で居心地の良いウォーカブル | 〇低炭素都市の実現に資す |
| | 国際的な都市間競争力を | 集積を図り、知的創造産業の人材・企業の | な歩行者空間を創出 | る都市開発事業を促進 |
| | 強化し、海や山が育むグロー | 多様性を高め、イノベーションを創出する機 | | O ## + T # # # 1 # 1 # 1 7 1 7 1 7 |
| | バル貢献都市として持続的に | 能を充実させるとともに、これらとバランスの | ○三宮駅周辺において、駅前広場と連続した敷 | 〇都市再生推進法人等による |
| | 発展していくために、デザイン | とれた居住機能を誘導 | 地空間の確保により、バスターミナルなどの駅 | エリアマネジメントにより、 |
| | 都市神戸にふさわしい風格あ | | 前広場機能や災害時の一時滞留空間などの | 公共空間の利活用や地域 |
| | る都市景観と賑わいや活力 | 〇兵庫県庁周辺において、行政、芸術文化機 | 防災機能を充実、補完 | の特色を活かしたまちの魅 |
| | のある都市空間を創造し、安 | 能の充実に加えて、業務、教育・研究、商業 | | 力、地区の価値を向上 |
| | 全、快適で災害や感染症に | などの賑わい交流機能やこれらとバランス | 〇兵庫県庁周辺において、来街者のための多 | |
| | 強い市街地を形成するととも | のとれた居住機能の付加により多様な都市 | 様な滞留空間や安全で居心地の良いウォーカ | |
| | に、ユニバーサルデザインへ | 機能を集積 | ブルな歩行者空間を創出するとともに、高低 | |
| | の配慮や低炭素都市づくりな | | 差のある元町駅南北の回遊性の向上を図る | |
| | どを推進 | 〇ウォーターフロントにおいて、港湾物流機能 | ため、駅周辺の再整備にあわせて、ユニバー | |
| | ウォーターフロントにおける | の移転、施設の更新にあわせて、業務、商 | サルデザインに配慮した歩行者動線を確保 | |
| | 空間の高質化、水際線沿い | 業、観光などを核としながら多様な機能を導 | | |
| | の回遊性の向上等により、賑 | 入 | 〇ウォーターフロントにおける空間の高質化や、 | |
| | わいと交流の拠点を形成 | | 水際線沿いの回遊性の向上などを図るため、 | |
| | | | 緑地やプロムナードを整備 | |
| | | | | |

〔特定都市再生緊急整備地 域〕

歩く人が中心のまちを目指 す神戸の都心において、交通 環境を再構築するとともに、 更なる神戸らしい景観の形成 などを推進し、「心地よいデザ イン」を備え、公共空間と民地 が一体となった神戸ならでは の都市空間を官民協働で創 出することにより、国内外か ら多様でクリエイティブな人 材・企業の集積を進め、これ らの交流・融合による技術革 新や新たな産業の創出を促 進することで、文化・経済が 持続的かつグローバルに発 展し、世界に貢献する未来創 告都市のリーディングエリア を形成

- 〇防潮胸壁、陸閘の整備、避難経路の確保等 により、津波・高潮に対する防災機能を充実
- 〇医療産業都市、大学集積都市としての神戸 の強みを活かした産学連携・交流機能の導 入とともに、起業支援の取組みやビジネスマ ッチング、グローバルな企業活動を支える高 度な業務機能を導入
- 〇居住者、滞在者等の創造的活動を支える文 化·交流機能を導入
- 〇ユニバーサルデザインの考え方に基づき、 多様な国籍、文化、性別、世代の人が安心・ 快適な都市生活を享受できるアメニティ機能 を導入
- ○建築物の低層部へ賑わいの創出に資する 商業機能等を導入することにより、回遊する 魅力の高い歩行者空間を形成
- ○各交通手段の乗換え利便性の向上、駅前 広場の再整備、国際空港や他都市とのアク セス性向上に資するバスターミナルの整備 等により、交通結節機能を強化
- ○多言語に対応した緊急時の情報発信手段 や帰宅困難者の退避施設等の防災機能を 強化
- 〇国内外からの来訪者、滞在者の活動拠点の 形成に資する総合的な情報提供機能、宿泊 機能を導入

- 〇三宮交差点を中心として、フラワーロード及び 中央幹線の一部を、神戸の玄関口を象徴す る人と公共交通が優先の空間として整備
- 〇周囲からの視認性に優れた歩行者の垂直動線及び滞留空間を備えた空間を整備し、地下、地上、デッキレベルの歩行者空間ネットワークを強化するとともに、国内外からの来訪者を誘導する統一された多言語の案内サインを整備
- ○道路空間・道路地下空間の活用によりまちな か空間の賑わいや魅力を創出するとともに、 歩行者空間の拡大・魅力化や歩行者動線の 強化などの回遊性向上のための施策を実施
- 〇駅前広場の拡充等により、歩行者空間の充 実や交通結節機能の強化を図るとともに、災 害時における帰宅困難者の安全な滞留にも 対応できる防災機能を強化
- ○都心において潤いのある心地よい空間を創出 するため、緑陰空間や休憩場所の整備、東遊 園地の芝生化や屋上を活用した緑地の整備 等により、花と緑のネットワークを形成
- 〇歩く人を中心とする交通環境の再構築に資する駐車(自転車を含む)、荷捌きの施設を適切 に配置

- 〇神戸らしい都市景観や世界 に誇る夜間景観の更なる整 備、眺望の視点場の整備に 資する都市開発事業を促進
- 〇都心において、新たな交通 手段を都心交通として導入 するなど、歩行者と公共交 通を優先し、快適に移動で きる効率的な交通システム を構築
- 〇エリアマネジメントにより、 公共空間の利活用や地域 の特色を活かしたまちの魅力を向上
- ○震災復興の記憶とともに、 神戸の魅力・発展の展望を 国内外に広報・PRするシティープロモーションを強化
- 〇既存地下空間を活用した電 気・熱融通システムの構築等 により、環境負荷の低減ととも に、防災性の高い業務継続地 区を形成